

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公開番号】特開2007-58217(P2007-58217A)

【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2006-225897(P2006-225897)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 02 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/36

G 09 G 3/20 6 2 1 F

G 09 G 3/20 6 2 3 R

G 09 G 3/20 6 2 3 Y

G 09 G 3/20 6 4 1 G

G 09 G 3/20 6 4 1 C

G 09 G 3/20 6 4 1 K

G 09 G 3/20 6 4 1 R

G 09 G 3/20 6 6 0 V

G 02 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月6日(2009.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

行列状に配列された、第1及び第2サブ画素を含む複数の画素、

前記第1サブ画素に接続された、第1ゲートオン電圧を伝達する複数の第1ゲート線、

前記第2サブ画素に接続された、第2ゲートオン電圧を伝達する複数の第2ゲート線、及び

前記第1及び第2サブ画素に接続された、第1及び第2データ電圧を伝達する複数のデータ線

を含み、

前記各画素の第1及び第2サブ画素に各々印加される前記第1及び第2データ電圧は一つの映像情報から得られ、前記第1データ電圧は前記第2データ電圧より低くなく、

前記第1データ電圧を前記第1サブ画素に印加する前に前記第2データ電圧を前記データ線にプリチャージすることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記第2データ電圧を前記データ線にプリチャージする前にインパルスデータ電圧を前記データ線に印加することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記第2データ電圧のプリチャージは少なくとも2水平周期ごとに行われることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記第2データ電圧のプリチャージは、前記インパルスデータ電圧が印加された水平周期のブランク区間から開始することを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記インパルスデータ電圧は前記データ線を互いに接続して得られることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記インパルスデータ電圧が前記データ線に印加されれば、複数の画素行の第1及び第2ゲート線に前記第1及び第2ゲートオン電圧を同時に各々印加することを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記第1ゲートオン電圧の印加時間と前記第2ゲートオン電圧の印加時間とは少なくとも一部分が重畳することを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記第1ゲートオン電圧の印加時間は前記第2ゲートオン電圧の印加時間より短いことを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項 9】

互いに異なる第1及び第2階調電圧集合を生成し、前記映像情報に該当する階調電圧を前記第1及び第2階調電圧集合から各々選択して、前記第1及び第2データ電圧として前記第1及び第2サブ画素に各々印加することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項 10】

第1のM個(Mは自然数)の画素行の第1及び第2サブ画素に前記第1のM個の画素行の第1及び第2データ電圧を交互に順次に各々印加した後、第2のM個の画素行の第1及び第2サブ画素にインパルスデータ電圧を同時に印加することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。